



函南・ぶなの森通信

8月号



厳しい暑さが続いています、ぶなの森のご利用者様は毎日お元気に過ごされています。今月のお便りも、日々の笑顔や楽しそうな様子の写真をぎゅっと詰め込みました！少しでも皆様に涼しさと元気が届きますように。

01 流しそうめん

今年も初夏の恒例行事、「流しそうめん」を実施しました！計3日間、特養・ショートステイ・デイサービスご利用の皆さんに参加していただきました。体験する機会も少ないため、最初は中々取れなかった方も、段々と上手に。ご家族も参加してくださり、会場は笑顔で溢れていました。



コロナ禍が明けて流しそうめんが復活し、3年目を迎えました。「去年もやったね」と覚えて下さっている方も多く、すっかり定番行事になりつつあります。流しそうめん等を企画する「企画委員」のメンバーも、準備に片付けと大忙しでしたが、とても頑張ってくれました！

02 ユニットレクリエーション

2丁目 おやつレク「ナガサリ作り」

2丁目のインドネシア出身の職員が、故郷のお菓子「ナガサリ」の作り方を、職員と入居者様に教えてくれました！ココナッツ風味のもちもちした甘い生地の中にとろっとしたバナナが入っていて、とても美味しそうでした！



特養・ショートステイ セタ祭り

6月中旬頃から、玄関や各ユニットは笹や天の川が飾られ、セタムード一色になります。おやつレクでキラキラとしたゼリーを作るユニットも。各ユニットの個性が光っていました。



03 ぶなの森の挑戦 ～訪問介護プロジェクト④～

訪問介護は、単なるサービスの一つではありません。地域で暮らし続けるための“基盤”であり、人と人の暮らしをつなぐ役割を担っています。私たちが進めている取り組みは、訪問介護を「単なる生活支援」から「地域の暮らしを守る支援」へと進化させるものです。その一歩一歩が、地域で生きる安心を少しずつ広げていくと信じています。

そしてこの仕事は、誰かの人生を支える、かけがえのない役割が魅力です。地域を守る一員としてこの訪問介護で働いてみたいと感じていただけたなら、ぜひ一歩踏み出していただきたいと思います。また、「少し話を聞いてみたい」「どんな支援が受けられるのか知りたい」という方も、どうぞお気軽にご相談ください。

この地域で、自分らしく暮らしていくために。訪問介護は、これからも進化し続けます。
訪問介護プロジェクト 牧田一平

～編集後記～ 今年4歳になる息子は、セタのお願いで「大きくなったら恐竜になりたい！」と元気に言っていました、7歳のお姉ちゃんに「無理だよ」と一蹴されていました。小学生にもなるとクールです。ぶなの森でも各ユニットや玄関にセタ飾りを飾り、皆で短冊にお願いごとを書きました。私を含め、大人の皆さんの願いはダントツで「健康」です。～伊藤～



発行日 令和8年8月1日
発行者 社会福祉法人 函要会 函南・ぶなの森
〒419-0114 静岡県田方郡函南町仁田 284-5
☎055-970-1127



ホームページ



特養・ショート
Instagram



デイサービス
Instagram